

ふるさと創造学の実施イメージについて

平成26年5月1日

第6回ワーキンググループ①（4月25日）において下記の議論があがった。

（1）「理念」を軸とすることが必要

双葉郡を将来的にどうしたいのかという姿から導き出した人材像を中心とする。
（復興を支える人材の育成等）

（2）学校段階を横断した、一貫した系統的なカリキュラムとすることが必要

宮崎県五ヶ瀬町では「五ヶ瀬で生まれ、育ち、生き、創造する人づくり」を教育目標としている。この目標の達成のために「五ヶ瀬教育ビジョン」教科部会においては、小学3年生～中学3年生までの7年間（3年生～9年生）の総合的な学習の時間において、下記のような系統立てた指導を行い、児童生徒の探求する力を身に付けさせている。

（各期でのねらいと内容）

入門期（基礎定着期）： 3年生、4年生

習得の段階にあたる。教師主導で指導し、課題のつかみ方、調べ方、発表の仕方、深め方等を学ばせる。課題は「五ヶ瀬の特産品」を扱う。
探求活動の方法を身に付けるために、探求のサイクルは短く複数回としている。
（年間3サイクル）

基礎期（基礎活用期）： 5年生、6年生、7年生

活用の段階にあたる。ある程度児童生徒に活動を任せ、深める段階を中心に教師が取り上げ、そこから生まれる疑問や課題を次につなげさせる。課題は「五ヶ瀬の自然・環境・歴史」を扱う。
探求活動を深めるために、探求のサイクルは長くしている。（1年～2年）

発展期（探求期）： 8年生、9年生

探求の段階にあたる。自分のもつ課題をとことん追求させ、卒業論文としてまとめさせる。課題は「テーマ学習」となる。
充実した探求活動を行うために、探求のサイクルは長くしている。（1年半）

※ 参考資料「五ヶ瀬教育ビジョン平成21年度まとめ」教科部会報告抜粋

(2) 総合的な学習の時間

① 基本的な考え方

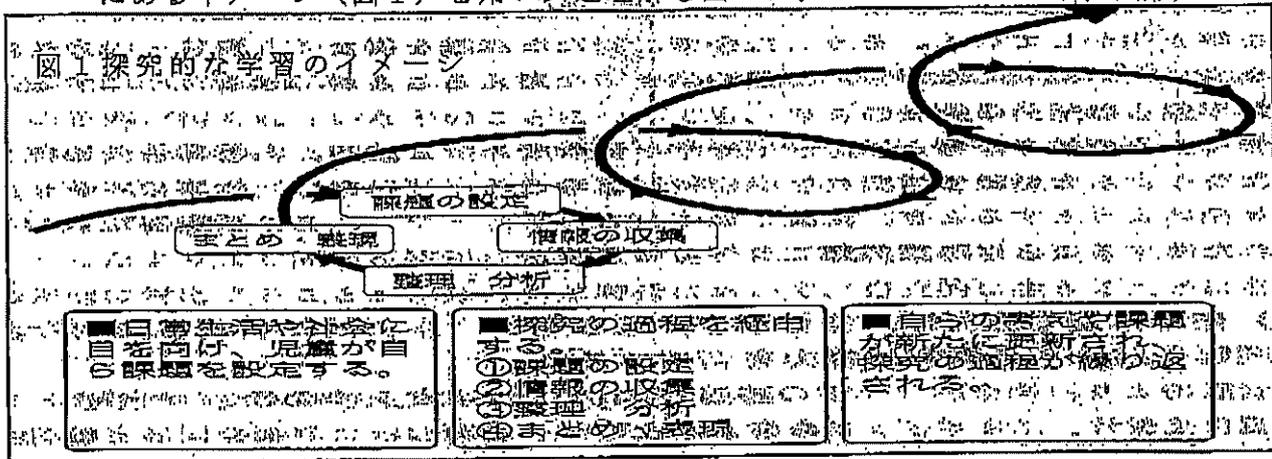
少子高齢化、過疎化、山間地等の悪条件と言われる条件を逆手にとって五ヶ瀬でこそ優位にできる教育の目標は、「五ヶ瀬で生まれ、育ち、生き、創造する人づくり」である。この目標を達成するためには、地域を知り、学んだことを生かし、常に新たな課題に挑戦し、解決を図り、よりよく生きていこうとする人材を育てることが求められる。そのためには各教科領域で、習得したことを活用し、探究していく過程を大切にしていかなければならない。特に総合的な学習の時間では、問題の解決や探究活動に、主体的、創造的、協同的に取り組む児童・生徒を育てなければならない。

本部会では、これまでの「総合的な学習の時間」の学習内容や学習方法を見直し、探求的な学習として組み立てた小学3年生から中学3年生までの一貫した体系的なカリキュラムについて研究を進めている。

② 部会の具体的取組

○ 本町でめざす総合的な学習の時間

探求的な学習として組み立てるためには、探求的な学習のスタイルをイメージし共通理解を図る必要がある。そこで、学習指導要領解説「総合的な学習の時間」編にあるイメージ(図1)を用い共通理解を図った。



そして、児童生徒の実態や総合的な学習の時間で身に付けさせなければならない内容も加味して、本町における総合的な学習の時間の目標と児童生徒像を設定した。

【目標】

- 五ヶ瀬にふれ、五ヶ瀬のよさを見付け、五ヶ瀬について考え、五ヶ瀬に対する関心と理解を深める。
- 探求的な学習を通し、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、問題を解決する力を育てる。
- 五ヶ瀬に関連する情報を収集・選択・整理し、まとめたことから自己の生き方を考えることができるようにする。

【めざす児童像】

- 五ヶ瀬のよさを見付け、五ヶ瀬に関心をもつ子ども
- こだわって追究する子ども
- 自己の生き方を考える子ども

児童生徒に探究する力を身に付けさせるためには、総合的な学習の時間を小学3年から

中学3年までの7年間の中でどのように系統立てて指導していくかが重要となる。そこで7年間を入門期、基礎期、発展期の3段階に分け、それぞれ次のようなねらいをもたせた。

入門期 3年生から4年生の時期で習得の段階にあたる。教師主導で指導し、課題のつかみ方、調べ方、発表の仕方、深め方等を学ばせる。(基礎定着期)

基礎期 5年生から7年生の時期で活用の段階にあたる。ある程度児童に活動を任せ、深める段階を中心に教師が取り上げ、そこから生まれる疑問や課題を次につなげさせる。(基礎活用期)

発展期 8年生から9年生の時期で探究の段階にあたる。自分のもつ課題をとことん追究させ、卒業論文としてまとめさせる。(探究期)

さらに指導する内容や探究に必要な力等も含め考え方を整理すると表1のようになる。

【表1 探究に必要な力の系統表】

段階 学年	入門期 (基礎定着)		基礎期 (基礎活用)			発展期 (探究)			
	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年		
課題	○教科との関連から課題を与える。○生活体験から課題を見つける。		○地域の課題を追究する。			○自らの課題を設定し探究する。			
主な活動	○与えられた題材を基に問題解決的な学習を行う。		○身の回りから課題を見つけ追究する活動をくり返す。			○話し合いの中から生まれた課題をさらに追究する。			
重点事項	・見通しのもち方・調べ方・まとめ方 ・発表の仕方・まとめ方		・課題設定の方法 ・調べ方 ・まとめ方			・話し合いの探め方 ・論文のまとめ方			
探究 に 必 ず な 力	【課題をつかむ力】								
	・身近な人や自然などから知りた いこと、やりたいことを見つ ける。 ・身の回りの変化に気づく。 ・観察や体験から不思議を見つ ける。		・身近な事象を比較しながら違 いや共通点を見出す。 ・観察、取材や体験から自分か りの課題を見つける。 ・自分の経験を生かして解決方 法を考える。			・身近な事象の變化とその要因を 関連づけて課題を見付ける。 ・見いだした課題を計画的に追究 する観点を持つ。 ・解決に向けて見通しを持つ。 ・課題追究の中から次の発見や疑 問を見つける。		・解決すべき問題を把握し、課題解決 の理由や追究のねらいを明確に設定 する。 ・課題追究の中から、次の発見や疑問 を見いだし課題を見つける。	
	【情報を収集し活用する力】								
・必要なことを先生、家族、友だ ちから聞く。 ・身の回りや本、図書から探す。		・一番聞きたいことを質問する。 ・地域のいろいろな人から聞く。 ・必要な情報を選ぶ ・メモをとりながら聞く。			・資料収集したものから課 題にあった情報を選択する。 ・計画的に情報収集する。 ・相手の思いや願いを意識し ながら話を聞く。		・情報を収集する。 ・目的に応じ、広い視野で多面的に 情報を収集する。 ・様々な情報手段、取材、体験など から情報を収集し、自分の課題追 究に必要な情報を選択する。		
【情報をまとめ表現する力】									
・気付いたことや楽しかったこと を自分なりに工夫して伝える。 ・伝えたいことを筋道を立てて話 す。		・集めた情報について必要な事柄 かを考える。 ・疑問に思ったことを調べてまと める。 ・調べた過程や結果を、目的に応じて 分かりやすい表現方法で伝える。			・事象と論拠、意見などを区別 して自分の立場を明確にして発 表する。 ・必要な資料を提示しながら発表する。		・伝えたい事象を明確にして、自分の主張と それを裏付ける資料を準備する。 ・探究し考察した過程や結果とともに相手に 自分の意見や主張が正確に伝わるように 組み立てを工夫する。 ・もっとも効果的な表現方法を考えて発表す る。		

この表をもとに、3年から9年(小3から中3)までの一貫したカリキュラムの例を考えると表2のようになる。

【表2 7年間の学習の流れ】

段階	入門期 (基礎定着期)		基礎期 (基礎活用期)			発展期 (探究期)	
	3年 (70時間)	4年 (70時間)	5年 (70時間)	6年 (70時間)	7年 (70時間)	8年 (70時間)	9年 (70時間)
課題	五ヶ瀬の特産品		五ヶ瀬の自然・環境・歴史			テーマ学習	
内容例	しいたけ さつまいも ぶどう やまめ 茶 米 野菜 水 など		山川 森林 ゴミ問題 など	文化 人物 史跡 など	「地域を知る」	「地域に生きる」 「地域を生かす」	「地域を生かす」
1学期	<p>身近な社会生活に興味・関心をもち、疑問をもつことができる。</p> <p>進んで質問することができる。</p> <p>友達と協力して活動することができる。</p>	<p>体験活動</p> <p>課題を見つけ、解決するための計画や方法を考えることができる。</p> <p>◇1つの課題にそって探究的な学習を行う。 【教師主導型】</p> <p>発表会</p>	<p>体験活動</p> <p>体験活動を通して個人課題を決定する。</p> <p>学習計画を立てる。</p> <p>疑問をもつ。個人課題を決定する。</p> <p>手ごたえ</p> <p>問題を解決するためにいろいろな方法を考え目的にあった有効な方法を選ぶことができる。</p> <p>自分の課題解決に向けて予想を立て、見直しをもって追究することができる。</p> <p>中間発表会</p> <p>◇ 中間発表を受け、個人課題を決定し、さらに深める。</p> <p>疑問をもつに自分の追究したい課題を見つけることができる。</p> <p>◇ 個人課題を追究していく。</p> <p>発表会</p>	<p>体験活動</p> <p>地域の環境や人々の生活に興味関心をもち、問題を見つけることができる。</p> <p>体験活動を通して個人課題を決定する。</p> <p>学習計画を立てる。</p> <p>問題を解決するためにいろいろな方法を考え目的にあった有効な方法を選ぶことができる。</p> <p>学習計画をもとに追究・調査・発表活動を行う。</p> <p>問題を解決するためにいろいろな方法を考え目的にあった有効な方法を選ぶことができる。</p> <p>伝えたいことをわかりやすく伝えるために構成を工夫して資料をまとめることができる。</p> <p>中間発表会</p> <p>自分の活動を振り返り評価し、互いに高め合おうとすることができる。</p> <p>発表会</p>	<p>体験活動</p> <p>地域の環境や人々の生活に興味関心をもち、問題を見つけることができる。</p> <p>学習計画を立てる。</p> <p>問題を解決するためにいろいろな方法を考え目的にあった有効な方法を選ぶことができる。</p> <p>学習計画をもとに追究・調査・発表活動を行う。</p> <p>問題を解決するためにいろいろな方法を考え目的にあった有効な方法を選ぶことができる。</p> <p>情報を収集整理、分析し論理的総合的に考慮することができる。</p> <p>発表会</p>	<p>学習計画をもとに追究・調査・発表活動を行う。</p> <p>手ごたえ</p> <p>調べたこと、自分の考えや意見などを分かりやすくまとめ、主張する内容を相手に伝える効果的な技術や方法を工夫して発表することができる。</p> <p>卒業発表会</p> <p>自分のものの見方や考え方を深め、相手の立場や考え、生き方を尊重し、自らの生き方を振り返ることができる。</p> <p>様々な体験や学習を通して学んだことを自らの生き方に生かすことができる。</p>	
	2学期	<p>体験活動をもとに学習課題を見つけることができる。</p> <p>課題を解決するための計画や方法を考えることができる。</p> <p>◇1つの課題にそって探究的な学習を行う。 【教師主導型】</p> <p>発表会</p>	<p>体験活動</p> <p>友達と協力しながら課題を追究することができる。</p> <p>◇1つの課題にそって探究的な学習を行う。 【協働活動・グループごとに課題を解決する】</p> <p>発表会</p>	<p>手ごたえ</p> <p>問題を解決するためにいろいろな方法を考え目的にあった有効な方法を選ぶことができる。</p> <p>自分の課題解決に向けて予想を立て、見直しをもって追究することができる。</p> <p>中間発表会</p> <p>◇ 中間発表を受け、個人課題を決定し、さらに深める。</p> <p>疑問をもつに自分の追究したい課題を見つけることができる。</p> <p>◇ 個人課題を追究していく。</p> <p>発表会</p>	<p>手ごたえ</p> <p>伝えたいことをわかりやすく伝えるために構成を工夫して資料をまとめることができる。</p> <p>中間発表会</p> <p>自分の活動を振り返り評価し、互いに高め合おうとすることができる。</p> <p>発表会</p>	<p>学習計画を立てる。</p> <p>問題を解決するためにいろいろな方法を考え目的にあった有効な方法を選ぶことができる。</p> <p>学習計画をもとに追究・調査・発表活動を行う。</p> <p>問題を解決するためにいろいろな方法を考え目的にあった有効な方法を選ぶことができる。</p> <p>情報を収集整理、分析し論理的総合的に考慮することができる。</p> <p>発表会</p>	<p>調べたこと、自分の考えや意見などを分かりやすくまとめ、主張する内容を相手に伝える効果的な技術や方法を工夫して発表することができる。</p> <p>卒業発表会</p> <p>自分のものの見方や考え方を深め、相手の立場や考え、生き方を尊重し、自らの生き方を振り返ることができる。</p> <p>様々な体験や学習を通して学んだことを自らの生き方に生かすことができる。</p>
		<p>課題にそって探究的な学習を行う。</p> <p>発表会</p>	<p>課題にそって探究的な学習を行う。</p> <p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>
3学期		<p>課題にそって探究的な学習を行う。</p> <p>発表会</p>	<p>課題にそって探究的な学習を行う。</p> <p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>
	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	
	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	<p>発表会</p>	
まとめ方例	紙芝居 OHP	かべ新聞 ポスター	プレゼンテーション				